

ナンバリング	科目名		サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
122AS04	経営学 B		企業の成長、人的資源と戦略	伊藤 真一	1 年次後期	2
科目区分	基礎	キーワード	経営学、企業、経営管理、人的資源管理、経営戦略			
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目		経営学 A				
オフィスアワー		授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法		教員の短大メールアドレス				
講義の目的	この講義では経営学の初学者が、経営学の基礎知識を習得することを目的としている。企業は 18 世紀以降、この世界の発展を担ってきた重要な存在であり、経営学において最も主要な研究対象である。企業は生活に欠かせない製品・サービスを提供し我々の日々の暮らしを支えるとともに、社会を変革させる製品・サービスを生み出す存在である。経営学 B では企業の特徴や、企業がどのように組織目標を達成できるかを理解することを目的とする。					
到達目標	1. 企業の特徴を理解する 2. 企業が目標を達成するための方策を理解する 3. 学習した知識をもとに、実際の企業を理解・分析・説明できるようになる					
講義内容	この講義では、一般的な企業の基本的な特徴に加え、日本の産業を支える中小企業の特徴や特異性についても解説する。また、企業が目標を達成するための方策について、人的資源管理や経営戦略といった観点からも説明する。また、授業では実際のケースも用いながら、理論的な観点から実際の現象を理解する。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第 1 講	ガイダンス:外部環境と経営	講義の受け方や成績評価、外部環境と経営の関係性			
	第 2 講	企業形態	法人の概念と企業形態			
	第 3 講	株式会社	株式会社の制度と仕組み			
	第 4 講	中小企業の特徴	中小企業の特徴と特異性			
	第 5 講	中小企業の労働	中小企業における労働の特徴と特異性			
	第 6 講	小テスト 1: 企業の基本概念	企業の基本概念についての理解度の確認			
	第 7 講	ベンチャービジネス	ベンチャービジネスの特徴と資金獲得			
	第 8 講	CSR とガバナンス	企業の社会的責任とコーポレート・ガバナンス			
	第 9 講	下請けと資源依存理論	中小企業が抱える下請け問題と資源依存理論			
	第 10 講	ケース:下請けからの脱却	学習した理論を用いた実際のケースの分析			
	第 11 講	人的資源管理:採用と教育	人的資源管理 (HRM) における採用と人材教育			
	第 12 講	人的資源管理:評価と給与	人的資源管理 (HRM) における評価制度と給与制度			
	第 13 講	小テスト 2: 企業と HRM	企業の諸理論と人的資源管理論についての理解度の確認			
	第 14 講	経営戦略の基礎	経営戦略論の基礎理論			
第 15 講	ケース:事業ドメイン	学習した理論を用いた実際のケースの分析				
指導方法	講義は、パワーポイントを用いて行い、履修者には穴埋め式のプリントを配布する。講義では、月に 1-2 回程度、ケース分析をしてもらう。具体的な内容としては実際の組織のケース（資料・映像）を視聴し、講義で説明した理論を用いて分析し、リアクションペーパーを記入してもらう。					
事前学習	授業前の事前学習として、各回のテキスト該当ページを一読し、未習の用語等について明らかにし、課題をもって授業に臨むことが必要である。1 時間 30 分程度の学習時間が目安である。					
事後学習	授業後の事後学習として、授業時に学習した以外の事例について参考文献を調べ、自分で考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めることができる。1 時間 30 分程度の学習時間が目安である。					
成績評価方法	本試験 70% (筆記試験)、平常点 30% (小テスト 15% × 2 回)					
課題(試験・レポート)に対するフィードバックの方法	小テストと本試験は返却しない。小テストについては授業内で解説を行う。					
テキスト	利用しない。					
参考文献	馬場杉夫・蔡仁錫・福原康司・伊藤真一・奥村経世・矢澤清明『マネジメントの航海図』, 中央経済社, 2015 年					
実務家教員による授業		教員 経歴				
特記事項						